

Asia Medical Massage
Instructors Network

2010年5月
タイ TBU 日本スタディツアー
報告書

期間:平成 22 年 5 月 6 日~5 月 10 日

タイ盲人連合 (Thai Blind Union)

日本スタディツアー概括

2010年5月7日～8日にかけて、タイから10名の研修を受け入れました。目的は、タイ国における視覚障害者の国家試験の実施を控え、日本では国家試験の実施にあたり視覚障害者に対しどのような配慮を行っているのかということを中心に、日本の国家試験について理解を深め、また、日本の視覚障害者マッサージ師の、就労環境などについて理解を深めることであります。

今回このスタディツアーを実施した背景としては、2006年の憲法改正および2007年の医療法改正により、タイでは、障害者に対する差別条項が撤廃され、視覚障害者も医療マッサージの国家試験を受験することが法的には可能となったことがあげられます。しかし、実際には視覚障害者に対して「医療」を教育する環境や、指導者、国家試験の実施方法など、まだまだ整備が必要な状況であります。2009年8月にタイ・バンコクで行ったAMIN主催のセミナーでは、日本の視覚障害者の現状、教育環境および就業状況などについての講演をし、概要については理解してもらうことが出来、また、2010年3月には、タイ保健省伝統医療局と協力し、約10日間の視察・研修を日本で実施致しました。その上で、タイ盲人連合より、より詳しく日本の国家試験と就労状況を中心としてさらに理解を深めたいとの要望があり、今回来日に至った次第です。

今回の受容れに際し、見学先の各関係者の皆様には、お忙しい中快く見学を受け入れて下さり、心より感謝申し上げます。今回日本で見聞きしたことが、今後タイの視覚障害者における環境整備に、については東南アジア諸国の視覚障害者がよりよい環境で生活を送ることに活かされるよう、今後も可能な範囲でフォローアップしていく所存であります。

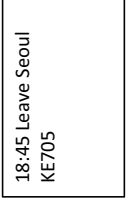
筑波技術大学 AMIN 推進委員会

Participant List of Study Tour in Japan

Surname	First Name	所属	職名
1 Techavachara	Pecharat	Foundation for the Employment Promotion of the Blind, Thai Blind Union	President
2 Suvunrungsikul	Amnuai	Sana Thai Massage Shop	Masseur
3 Techavachara	Amphorn	Sanamchaiket Vocational Training Center	Director
4 Li-On	Atikul	Maharat Nakhonratchasima Hospital	Masseur
5 Muakkum	Banchan	Foundation for the Employment Promotion of the Blind	Masseur
6 Songsang	Jarone	Association of the Blind Phatthalung	Masseur
7 Somjitt	Kanchit	Suan Dusit Rajabhat University	Instructor、通訳者
8 Malangphuthong	Korramid	Foundation for the Employment Promotion of the Blind	Massage Instructor
9 Wongnok	Mahesak	Mahesak Thai Massage Shop	Masseur
10 Changsiricharoen	Pathara	Ministry of Public Health	Lawer in bureau of Sanatorium and Healing
11 楠山	寛子	筑波技術大学	鍼灸学専攻特任研究員 AMIN事務局担当
12 千葉	寿夫	日本財団	AMIN担当者
13 山下	タナックサラン		通訳者

Schedule of Training tour in Japan

	2010/5/6 (Thu)	2010/5/7 (Fri)	2010/5/8 (Sat)
8:00			
8:30		ホテル出発(マイクロバス)	
9:00			
9:30			
10:00		東洋療法研修試験財団訪問	点字図書館
10:30			
11:00			
11:30			
12:00		昼食	昼食
12:30			
13:00			
13:30			人間総合科学大学鍼灸医療専門学校
14:00		朝日新聞社ヘルスキーパールーム訪問	
14:30			
15:00			
15:30			王子治療院
16:00		日本財団訪問	
16:30			
17:00		ホテルへ	ホテルへ
17:30	Go to Hotel by Shuttle Bus		
18:00			
Hotel	成田ポートホテル 658 Oyama, Narita, Chiba 286-0131 Japan Tel: +81 476-35-5511 / Fax:+81 476-35-3002 http://www.ishinhotels.com/narita-porthotel/en/index.html	ホテルサンルート品川シーサイド Shinagawa Seaside East Tower, 16th Fl. 4-12-8 Higashi-Shinagawa Shinagawa-ku, Tokyo Tel: +81 3-6716-0011 / Fax:+81 3-6716-1888 http://www.sunroutehotel.jp/shinagawaseaside/hss-eng/	ホテルサンルート品川シーサイド Shinagawa Seaside East Tower, 16th Fl. 4-12-8 Higashi-Shinagawa Shinagawa-ku, Tokyo Tel: +81 3-6716-0011 / Fax:+81 3-6716-1888 http://www.sunroutehotel.jp/shinagawaseaside/hss-eng/



5月7日（金）

○財団法人東洋療法研修試験財団

対応者：事務局長打越氏、斎藤氏、古谷氏

訪問者：TBU スタディツアーメンバー10名

日本財団千葉氏他

引率：楠山



国家試験を来年4月に控えているが、本格的に視覚障害者が受験するのは今回が初めてのため、未だ実施方法が決まっていない状態である。そのため、日本であん摩マッサージ指圧の国家試験を実施している財団法人東洋療法研修試験財団に訪問し、財団の役割、実際の実施方法などについて学びたいという希望があったため、今回訪問が実現した。対応していただいた財団の方々には、詳しい資料を用意して下さるなど、お忙しい中快く対応していただいた。

初めに事務局長打越氏より、財団の役割と詳しい国家試験の実施方法についての説明がなされた。

〈概要〉

財団設立：1990年3月

→それまでは国家試験ではなく各都道府県の管轄で試験が実施されていた。

財団の役割：国家試験の実施および名簿の登録

現在登録者数：466,344件（2009年10月現在）

（あま指：180992名、はり：143283名、きゅう：142069名）

視覚障害者に対する配慮：

- ①試験時間が1.5倍
- ②カセットテープや読み上げ（盲学校教諭による）での試験実施
- ③全国46会場（晴眼者は全国で6か所のみ）
- ④その他拡大読書器や電気スタンドその他用具の使用や配置（窓際での受験等）の配慮
- ⑤試験用紙はマークシートではなく、直接記入又は点字用紙を使用

その後タイ側より下記のような質問が出た。

－実技試験がない理由について

－財団・免許にはどのような法律や省庁が関わっているのか？

－テープやDAISYなど試験に使用する機材の貸し出しも行っているのか？

－受験科目について

- 配布資料をタイ語に翻訳してほしい
- 免許取得後のフォローアップについて
- 教員免許について

○朝日新聞ヘルスキーパールーム

対応者：人事部渡邊氏、ヘルスキーパー大橋氏他

訪問者：TBU スタディツアーメンバー10名、

日本財団千葉氏、JICA SV 笹田氏

引率：楠山



あん摩マッサージ指圧の国家試験を取得した視覚障害者の就業先の一つとして企業のヘルスキーパールームを見学した。ヘルスキーパールームは、朝日新聞本社ビルの地下に位置しており、ベッド3台とスタッフルームがそれぞれ壁で仕切られている作りをしていた。

始めに、ヘルスキーパーの大橋氏より、ヘルスキーパーについての概要や、しくみ、問題点などについてお話を伺った。

営業時間：11:00~18:40

施術時間：40分

対象者：朝日新聞社員（派遣社員やアルバイトは不可）

完全予約制（電話や窓口での予約又はヘルスキーパーに直接連絡）

ヘルスキーパールームでは、特に衛生面やリラックスできる環境づくり（音楽等）を心がけている。利用者の症状としては、やはりデスクワークも多いため頸～肩のこりが多い。ヘルスキーパーは1日6コマのうち、3～5人を施術する。朝日新聞のような昔からある大手企業については、社内に別で診療所等も併設されていることが多く、ヘルスキーパーに対しては、医療的なものよりはリラクゼーション的な目的の利用者が多いようである。

現在全国にヘルスキーパーは400人～500人いると言われているが、近年派遣社員として派遣されているヘルスキーパーも多く、実態数を把握しきれていないのが現状である。

今後改善を望む点としては、

- ①会社とヘルスキーパーとの間で目的意識のギャップがある→ヘルスキーパーは『労働衛生業』として受け入れてほしいが企業は『ヘルスマッサージ』、ヘルスキーパー＝社員の福利厚生として位置付けている。（近年外資系企業では、労働衛生業として仕事を任せているところもある）
- ②正社員ではなく、嘱託採用が多い

③ 1人きりの職場が多く、苦楽を共有できる同僚がいないため精神的にきつい

○日本財団表敬訪問

対応者：千葉氏、石井氏

訪問者：TBU スタディツアーメンバー10名

引率：楠山



今回のスポンサーである日本財団に訪問し、日本財団の説明等を受けた。また、国家試験実施にあたり、今後の支援について、いくつかタイ側より挙げられた。

- －国家試験実施関連資料の翻訳
- －アドバイザー派遣
- －アドバイス受付
- －TBU と保健省で委員会を組織し話し合う

5月8日

○日本点字図書館

対応者：田中館長、小野副館長、石出氏

訪問者：TBU スタディツアーメンバー10名

引率：楠山



日本点字図書館について、田中館長よりお話頂いた後、館内の見学を行った。開始時刻が30分ほど遅れたこともあり、駆け足の見学となった。館内にある用具部での買い物は、タイにはない用具をいろいろ見ることが出来、各自楽しんでいただようである。

○人間総合科学大学鍼灸医療専門学校臨床施設

対応者：坂本学科長他

訪問者：TBU スタディツアーメンバー10名

引率：楠山



晴眼者対象ではあるが臨床教育について見学

してもらうため、鍼灸専門学校の実習施設に伺った。土曜日ではあったが、通常の患者さんもおり、実際に行われている診療の見学をさせていただいた。また、鍼灸を体験したいとの希望者がいたため、頸肩部に対する鍼治療を体験させていただくことも出来た。

○王子治療院

対応者：与那嶺院長、与那嶺夫人

訪問者：TBU スタディツアーメンバー10名

引率：楠山

視覚障害者自身の経営する治療院として、王子治療院を見学した。治療院はベッド数3台で、御夫婦で運営されている。低周波治療器や、灸の機械などに興味を示していたようであった。それぞれが、灸を体験するなど、視覚障害者として開業することについてだけでなく、日本の伝統医療そのものにも実際に触れることが出来た。



灸体験

(文責 楠山)